



汽水域研究センター活動報告

活動日誌

1995年(平成7年)

3月 『LAGUNA汽水域研究』第2号発行.

『山陰地域研究』第11号発行.

NEWSLETTER 第5号発行.

6月20日 第11回汽水域研究懇談会

島根大学教育学部助教授・大谷修司氏が「宍道湖中海の藻類一種組成の季節および年変化について」について話題提供. 参加者31名(内学外者1名).

7月14日 第12回汽水域研究懇談会

島根県水産試験場三刀屋内水面分場長・中村幹雄氏が「しじみのはなし」について話題提供. 参加者24名(内学外者4名).

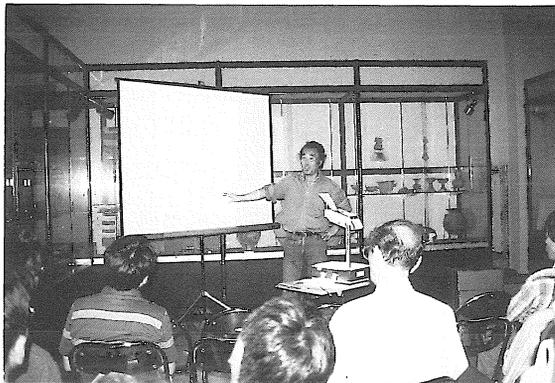


写真1. 第12回懇談会で話題提供する中村幹雄氏
(1995年7月14日).

7月27日 第13回汽水域研究懇談会

徳岡隆夫センター長, 千本電気・須崎 聡氏, 島根大学理学部講師・三瓶良和氏, 地質調査所・西村清和氏, 島根大学理学部助教授・亀井健史氏, 同学生・玉里圭太郎氏が「汽水域の塩分躍層一探索技術開発とその実用化一」について話題提供. 参加者13名(内学外者5名).

8月17日, 18日 公開講座『楽しい水辺の教室—平田市の川・池・湖—』を実施. 小学校高学年, 中学生を対象として, 高安克巳教授, 國井秀伸助教授など, 6名のセンター教官・研究員などが担当した. 28名が受講.

(NEWSLETTER 第6号に記事)

9月13日 第14回汽水域研究懇談会

島根大学埋蔵文化財調査研究センター・会下和



写真2. 公開講座『楽しい水辺教室—平田市の川・池・湖—』で学習する子供たち(1995年8月17日, 18日).

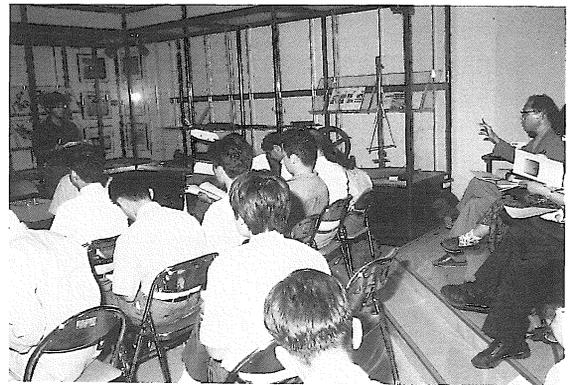


写真3. 第14回懇談会での質疑応答
(1995年9月13日).

宏氏, 湖陵町教育委員会・野坂俊之氏, 平田市教育委員会・原 俊二氏が「宍道湖周辺の低地遺跡と古環境」について話題提供. 参加者24名(内学外者18名).

(NEWSLETTER 第6号に記事)

9月15日 島根大学汽水域研究センター特別報告第2号『中海干拓と水環境—宍道湖・中海水質予測事業中間報告書(本庄工区水質予測結果)についての検討—』発行.



9月30日 汽水域総研研究集会

文部省科学研究費補助金総合研究(A)『海跡湖堆積物からみた汽水域の環境変化—その地域性—』

般性一」(研究代表者: 高安克己教授)にかかわる研究集会を札幌市にて開催。高安代表の趣旨説明の後、茨城大学教養部教授・大嶋和雄氏による特別講演もふくめ、14名の研究分担者が研究発表、研究紹介をした。参加者は関連の分野の研究者も含め23名。11月 NEWSLETTER 第6号発行。

11月4日 汽水域研究センター主催(鳥根大学松風祭参加企画)特別講演会

京都大学生態学研究センター長・川那部浩哉氏が「地球共生系を語る—汽水域に多様な生物が共存する仕組—」について講演。講演終了後、川那部氏を招き、第15回汽水域研究懇談会を開催。

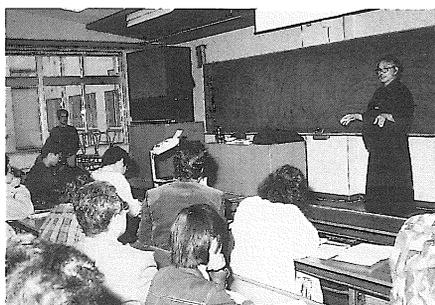


写真4. 特別講演会で話題提供する川那部浩哉氏(1995年11月4日)。

11月25日～12月1日 公開講座『大橋川—いまむかし—』を実施。高安克己教授による「川が街をつくり、街が川をつくる」、國井秀伸助教授による「大橋川の生物相」、竹広文明助手による「原始、古代の大橋川」など、5名のセンター教官・研究員などが講演した。9名が受講。

11月28日 環日本海国際交流討論会「中国東北部の森林—その利用と環境—」に参加。(於: 鳥根大学)

11月29日 北東アジアシリーズ'95「いま、よみがえる海の道—中国吉林省と山陰—」に参加。(於: 鳥根県民会館)

1996年(平成8年)

1月10日 第3回山陰地域研究・汽水域研究発表会

延べ58名参加のもとで21題の研究が発表された。

2月10日 第2回鳥根大学・鳥取大学合同シンポジウム『山陰地方の現状と課題—21世紀の環日本海交流をめぐる—』を鳥取大学地域共同研究センターとともに鳥根大学汽水域研究センターが主催。参加者80名(一般市民を含む)。(於: 松江市くにびきメッセ)。



写真5, 6. 鳥根大学・鳥取大学合同シンポジウムで趣旨説明する徳岡隆夫センター長(上), およびシンポジウムでのパネルディスカッション(下)(1996年2月10日)。

2月16日 第16・17回汽水域研究懇談会

山階鳥類研究所研究員・岡 奈理子氏が『汽水湖に生息するカモの特徴と、物質循環に果たす役割』について、東京都立大学理学部助教授・福澤仁之氏が『湖沼堆積物の高精度分析に基づいた地球環境変動の特質』についてそれぞれ話題提供。参加者31名(内学外者12名)。

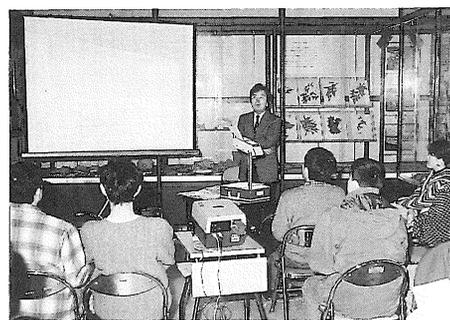


写真7. 第17回懇談会で話題提供する福澤仁之氏(1996年2月16日)。

2月24日 考古学・自然科学シンポジウム

文部省科学研究費補助金一般研究(A)『山陰汽水域の自然史と文化史』(研究代表者: 徳岡隆夫センター長)にかかわるシンポジウム「汽水域周辺の生業活動と古環境」を松江市なにわ一水にて開催。徳岡代表の趣旨説明の後、竹広文明助手による「山陰低湿地・沿岸部遺跡の諸問題」など、7題の研究が発表された。

文部省科学研究費の交付

平成7年度科学研究費補助金

科学研究費

総合研究(A)「海跡湖堆積物からみた汽水域の環境変化—その地域性と一般性—」(研究代表者; 高安克巳)

一般研究(A)「山陰汽水域の自然史と文化史」(研究代表者; 徳岡隆夫)

一般研究(B)「水辺の景観と水質浄化機能および生物多様性の因果関係の解明」(継続, 研究代表者; 國井秀伸)

試験研究(B)「音響トモグラフィーを利用した汽水域塩分躍層の動態観測システムの開発」(継続, 研究代表者; 徳岡隆夫)

研究成果公開促進費

データベース「汽水域データベース」(研究代表者; 高安克巳)

地方公共団体, 民間企業等との 受託研究および共同研究

1994年(平成6年度)追加

湖陵町教育委員会「神西湖周辺遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者; 高安克巳, 竹広文明)

1995年(平成7年度)

島根県教育委員会「朝酌川改修に伴う発掘調査ほか島根県内遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者; 徳岡隆夫, 高安克巳, 竹広文明)

島根県古代文化センター「風土記調査」(継続, 研究担当者; 高安克巳)

通商産業省工業技術院地質調査所「富栄養化湖沼における食物連鎖を利用した水質浄化技術に関する研究」(研究担当者; 高安克巳, 國井秀伸)

松江市「松江堀川の水質等自然環境変化と生態系の動向」(研究代表者; 國井秀伸)

匹見町教育委員会「島根県美濃郡匹見町田中ノ尻遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者; 竹広文明)

米子市「米子市史編纂事業」(研究担当者; 竹広文明)